

県女第一期生より、皆実高校生に至る

117年の歴史に連なる者、

また今後、この同じ流れに連なる者、

手をつなぎ足音高く歩もう。

足音高く声を揃えて元気に歩もう。

我等は、皆実有朋会会員（37,441人）である。

歩もう、歩もう力強く！



No.81 2018 (平成30) .12.20



専攻科50周年にあたって

校長 隠澤 浩雄



昭和41年度設置の衛生看護科に続いて、専攻科は昭和44年度に設置されました。専攻科は、高等学校看護教育の基礎の上に、看護に関する高度の専門的知識と技術を習得させ、医療・保健の機関などにおいて看護の仕事に従事し、その中堅となる者の養成を図るために設置されました。准看護師の資格取得後、専攻科修了（修了見込み）により看護師国家試験の受験資格が得られ、受験して看護師の資格を取得できるようになりました。

平成14年度入学生から文部科学省の指定を受け、衛生看護科3年、専攻科2年の5年一貫による看護教育（看護師養成）が創設されました。5年間のゆとりあるカリキュラムのなかで看護のスペシャリストをじっくり育てています。

専攻科は多くの皆様方のご理解とご支援を賜り、本年、設立50周年を迎えることができました。平成30年11月27日には、皆実有朋会副会長様をはじめ、多くの皆様のご出席を賜り、専攻科50周年記念式典及び記念講演会を開催することができました。講師には皆実29期、専攻科10回生の広島市立広島市民病院副院長・看護部長、南波玉喜様をお迎えし、「皆実生に伝えたいこと」と題して、日常の仕事を紹介していただきながら、生徒自身が将来に思いをはせ、働き方について考えることのできる講演をしていただきました。

本校は創立118年目を迎え、歴史と伝統を受け継ぎ、「勤勉・強行・責任・自由」の校訓の下、「文武両道」を不動の校是とし、知・徳・体の調和がとれ、社会に貢献する有為な人材を育てることをミッションとしております。

普通科・衛生看護科・体育科の3学科の総合力による「Team MINAMI」の精神を基盤として、専攻科ではさらなる専門性の育成にむけ、生徒が看護の心を育みながら成長してくれることを励みとして、教職員が惜しめない努力を継続しております。生徒もそのことによく応え、平成16年度から看護師国家試験を受験した生徒が100%合格を14年連続果たしています。

修了生は1662名となり、設立100周年を迎えた時、本校の看護教育が更にはばたく発展していると期待しております。その日を夢見ながら、専攻科50周年のあいさつとさせていただきます。